

FX NEWS PRESS

2025年
5月号

2025年5月2日発行
FXニュースプレス
(No.221)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel:03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

トランプ関税交渉の進展に要注目

【各種掲載のご案内】

- ▶ HP内でもFX NEWS PRESSや週間のテクニカルレポートWeek Ryreportを公開！
- ▶ FXやコモディティ、株価指数の市場情報を日々更新！マーケットコメント！で公開！

詳しくはホームページをご覧ください

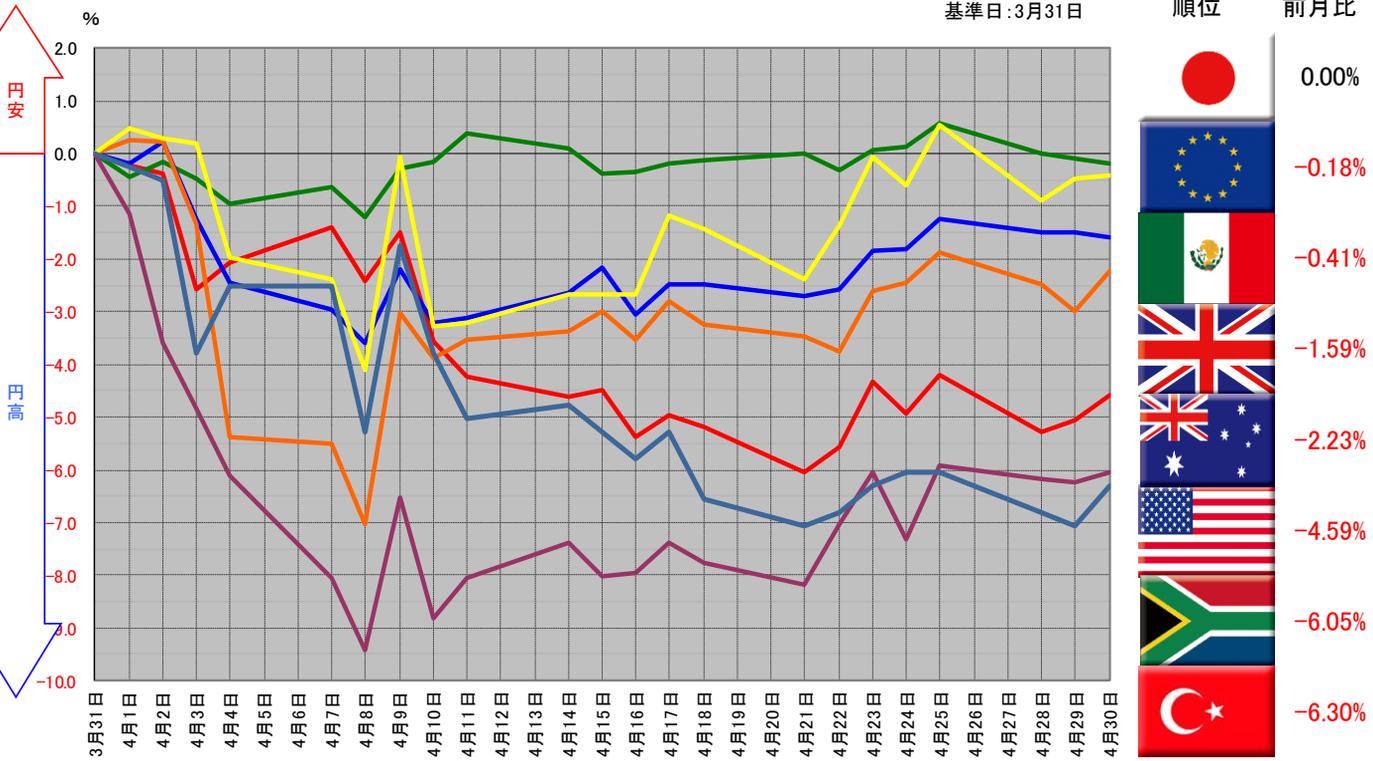
 AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

米ドル円 (基準値: 149.955) ユーロ円 (基準値: 162.23) ボンド円 (基準値: 193.77) 豪ドル円 (基準値: 93.68)
 ペソ円 (基準値: 7.315) ランド円 (基準値: 8.18) トルコ円 (基準値: 3.97)

基準日: 3月31日

順位 前月比



4月3日 貿易戦争激化懸念強まる

トランプ大統領が発表した「相互関税」の影響で世界的に経済が下押しされるとの懸念から、リスク・オフの円買い・ドル売りが優勢となった。さらに、3月ISM非製造業景況指数が予想以上に2月から低下したため年内の利下げ観測が強まり、長期金利低下に伴うドル売りが加速し、一時145.20円と昨年10月2日以来約半年ぶりの安値を更新した。なお、米10年債利回りは一時3.9966%前後と昨年10月以来の低水準を記録した。

4月4日 米雇用統計

米労働省が発表した3月米雇用統計で非農業部門雇用者数が22.8万人増と予想の13.5万人増を大幅に上回る強い結果となったことや、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長が米トランプ政権の関税により、今後数四半期はインフレが上昇する可能性に言及。政策修正を急がない姿勢を再表明したため、年内の大幅利下げ観測が後退しドルの買い戻しに拍車がかかり、一時147.43円と日通し高値を更新した。

4月7日 ドル円一時145円割れ

先週末にベッセント財務長官が「新たな関税は必要な措置だ」と述べたほか、ラトニック商務長官が「延期はない」と発言するなど、米政権が関税政策に対して強気な姿勢を示したことで週明け早朝から売りが活発化。日米株価指数先物が急落したことも売りを促し、一時144.82円まで下押した。売り一巡後も、投資家のリスクオフムードが強いなか、上値の重い地合いは変わっていない。

4月11日 FRB高官発言を好感

米3月生産者物価指数(PPI)が予想外の前月比マイナスとインフレが予想以上に鈍化したためドル売りに拍車がかかった。その後は、米連邦公開市場委員会(FOMC)で投票権を有するコリンズ米ボストン連銀総裁が「必要であれば市場を安定させる準備がある」と発言したことから、金融市場全般に対する過度な警戒感が和らいだ。為替市場でもドルを買い戻す動きが広がり、一時144.20円付近まで戻す場面があった。

4月15日 欧米通商協議難航でドル買い

17日から始まる日米貿易協議を前に戻りを売りたい向きも多く、一時142.60円と日通し安値を付けた。その後、NYの取引時間帯に入り、「米国と欧州連合(EU)の関税を巡る交渉はほとんど進展していない。米国が提示した対EU関税の大半は撤廃されないだろう」との報道が伝わると、対主要通貨でのドル買い戻しが進行。取引終了間際には143.28円付近まで持ち直したものの、戻りの動きは限定的となった。

4月17日 欧州中銀(ECB)政策金利

欧州中銀(ECB)は予想通り政策金利を0.25%引き下げることと決めたことと発表。声明では「インフレ抑制のプロセスは軌道に乗っている」との認識を示し、景気抑制的との文言を削除。また、ラガルド総裁の会見で「経済成長は下へのリスクが増している」「成長見通しについては通商の緊張により悪化している」との見解を示したためユーロ売りが優勢となり、1.1336ドルまで下落した。

4月22日 ドル円一時140円割れ

米国のトランプ大統領が予防的な利下げを要請した。また、大統領やそのチームが連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長を解任する選択肢を引き続き検討しているとの米国国家会議(NEC)委員長の発言を受け、FRBの独立性が危機に直面。米国資産への信頼性が弱まりドル売りに拍車がかかった。その後、前日安値を割り込むとストップロス注文を巻き込んで売りが強まり、一時139.89円まで下落した。

4月23日 米中貿易交渉の進展期待

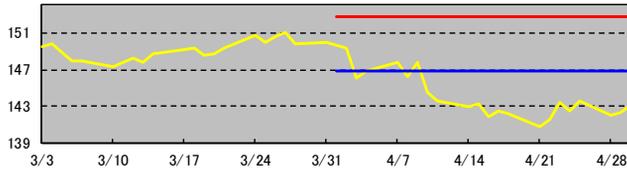
米ウォールストリートジャーナル紙が「米政府は貿易戦争の緩和に向けて対中関税の引き下げを検討」「対中関税は50-65%に引き下げられる可能性」と報じると、米中貿易摩擦が緩和されるとの期待が高まり、全般ドル買いが先行した。さらに、ベッセント米財務長官が「関税を巡る日米交渉で特定の通貨目標を定める考えはない」と発言すると、ドルの買い戻しに拍車がかかり、一時143.57円まで上値を伸ばした。

4月29日 米経済減速懸念が高まる

29日に発表された4月の消費者信頼感指数は2020年以來の低水準だった。このほか3月の雇用動態調査(JOLTS)は求人件数が市場予想を下回った。トランプ米政権の関税政策が経済を下押しするとの懸念が改めて広がり、一時141.97円まで値を下げた。その後、ラトニック商務長官が承認待ちの貿易協定があることを明らかにすると通商を巡る懸念が緩和したことは相場を下支えた。

ドル円

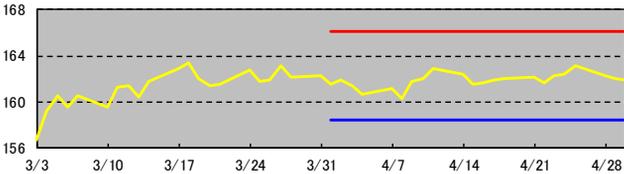
予想レンジ下限	予想レンジ上限
146.80	152.80



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けて推移した。

ユーロ円

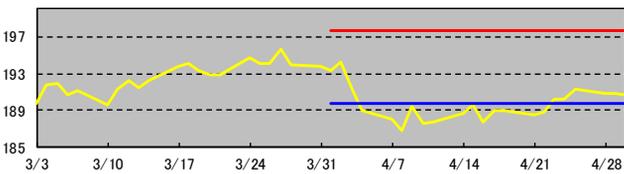
予想レンジ下限	予想レンジ上限
158.50	166.10



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

ポンド円

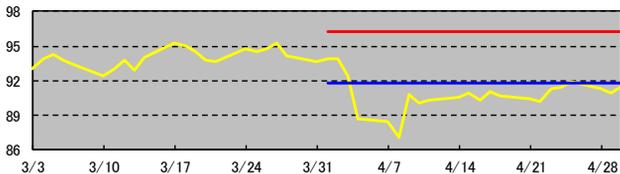
予想レンジ下限	予想レンジ上限
189.80	197.60



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けて推移した。

豪ドル円

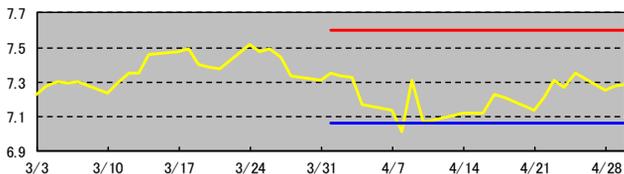
予想レンジ下限	予想レンジ上限
91.80	96.20



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けて推移した。

ペソ円

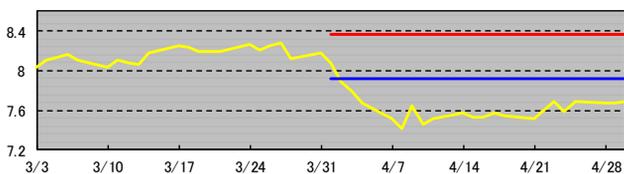
予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.06	7.60



逆張り方針 評価【○】
コメント
概ね予想レンジ内で推移した。

ランド円

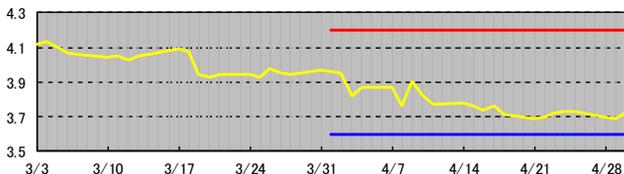
予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.92	8.37



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを下抜けて推移した。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
3.60	4.20



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジ内で推移したが、上値は限られた。

米ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 148.30円
 ↓ 140.30円



2024年12月2日～2025年4月30日

米ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、9/16安値(139.56)をサポートに、切り返しの動きとなっています。また相対力指数(RSI・14日)は売られ過ぎ水準の21.96%から上昇しており、下落基調の衰えが示されつつあるものと考えます。4/9高値(148.30)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4月の値動きから導き出した計算値(140.32)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(140.30)を下抜けた場合。この場合は23/7/14安値(137.25)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
5/1 23:00	4月ISM製造業景気指数		49.0	★★
5/2 21:30	4月失業率		4.20%	★★
5/5 23:00	4月ISM非製造業景気指数		50.8	★★
5/7 3:00	FRB政策金利(下限～上限)		4.25%～4.5%	★★★★
5/13 21:30	4月消費者物価指数(前年比)		2.40%	★★
5/15 21:30	4月生産者物価指数(前年比)		2.70%	★★
5/15 21:30	4月小売売上高(前月比)		1.40%	★★
5/15 22:15	4月設備稼働率		77.80%	★★
5/22 23:45	5月製造業PMI		50.7	★★
5/29 21:30	第1四半期実質GDP(前期比年率)		-0.30%	★★

〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠くものである。)



メインシナリオ 70%

実線は、3/5安値(158.82)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日・200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。11/6高値(166.09)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4月の値動きから導き出した計算値(158.92)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(158.90)を下抜けた場合。この場合は節目156円を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
5/2 17:00	4月製造業PMI		48.7	★★
5/2 18:00	4月消費者物価指数(前年比)		2.20%	★★
5/2 18:00	3月失業率		6.10%	★★
5/6 18:00	3月生産者物価指数(前年比)		3.00%	★★
5/7 18:00	3月小売売上高(前年比)		2.30%	★★
5/15 18:00	第1四半期GDP(前年比)			★★
5/15 18:00	3月鉱工業生産指数(前年比)		1.20%	★★
5/27 17:00	5月消費者信頼感		-16.7	★★
5/27 17:00	5月景況感指数		93.6	★★

ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 196.00円
 ↓ 185.90円



2024年12月2日～2025年4月30日

ポンド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ **70%**

実線は、3/5安値(184.35)をサポートに、切り返しの動きとなっています。また相対力指数(RSI・14日)は売られ過ぎ水準の27.89%から上昇しており、下落基調の衰えが示されつつあるものと考えます。3/27高値(196.00)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4月の値動きから導き出した計算値(185.93)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ **30%**

予想レンジの下限(185.90)を下抜けた場合。この場合は節目182円を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
5/1 17:30	4月製造業PMI		44.0	★★
5/7 17:30	4月建設業PMI		46.4	★★
5/8 20:00	英中銀政策金利		4.50%	★★★
5/13 15:00	4月失業率		4.60%	★★
5/15 15:00	第1四半期実質GDP(前年比)		1.50%	★★
5/15 15:00	3月鉱工業生産指数(前年比)		0.10%	★★
5/15 15:00	3月製造業生産高(前年比)		0.30%	★★
5/21 15:00	4月消費者物価指数(前年比)		2.60%	★★
5/22 15:00	5月製造業PMI		44.0	★★
5/23 15:00	4月小売売上高(前年比)		3.3%	★★

〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)

豪ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 96.50円
↓ 88.80円



2024年12月2日～2025年4月30日

豪ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ **70%**

実線は、23/3/24安値(86.06)をサポートに、切り返しの動きとなっています。また相対力指数(RSI・14日)は売られ過ぎ水準の17.74%から上昇しており、下落基調の衰えが示されつつあるものと考えます。2/21高値(96.50)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4月の値動きから導き出した計算値(88.81)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ **30%**

予想レンジの下限(88.80)を下抜けた場合。この場合は4/9安値(86.05)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
5/2 10:30	3月小売売上高(前月比)		0.2%	★★
5/2 10:30	第1四半期生産者物価指数(前年比)		3.7%	★★
5/13 9:30	5月消費者信頼感指数(前月比)		-6.0%	★★
5/13 10:30	4月企業景況感		4.0	★★
5/14 9:30	第1四半期賃金指数(前年比)		3.2%	★★
5/15 10:30	4月失業率		4.10%	★★
5/15 10:30	4月正規雇用者数(前月比)		1.5万人	★★
5/20 13:30	豪中銀政策金利		4.10%	★★★★
5/28 10:30	4月消費者物価指数(前年比)		2.40%	★★
5/30 10:30	4月小売売上高(前月比)			★★

<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 7.620円
↓ 7.010円



2024年12月2日～2025年4月30日
メキシコ/円 [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、23/2/3安値(6.845)をサポートに、切り返しの動きとなっています。また相対力指数(RSI・14日)は売られ過ぎ水準の24.00%から上昇しており、下落基調の衰えが示されつつあるものと考えます。4月の値動きから導き出した計算値(7.620)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4/14安値(7.015)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.010)を下抜けた場合。この場合は4/9安値(6.840)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
5/8 21:00	4月消費者物価指数(前年比)		3.80%	★★
5/12 21:00	3月鉱工業生産指数(前年比)		-1.30%	★★
5/16 4:00	メキシコ中銀政策金利		9.00%	★★★★
5/22 21:00	第1四半期実質GDP(前年比)		0.80%	★★
5/23 21:00	4月貿易収支		34.42億USD	★★
5/30 21:00	4月失業率		2.22%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ランド/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 8.080円
 ↓ 7.340円



2024年12月2日～2025年4月30日
 ランド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、節目7.25円をサポートに、切り返しの動きとなっています。また相対力指数(RSI-14日)は売られ過ぎ水準の16.80%から上昇しており、下落基調の衰えが示されつつあるものと考えます。4月の値動きから導き出した計算値(8.080)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4/11安値(7.340)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.340)を下抜けた場合。この場合は23/6/2安値(7.055)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
5/1 12:02	日本	日銀政策金利	0.5%	0.50%	★★★★
5/2 8:30	日本	3月完全失業率		2.40%	★★
5/9 21:30	カナダ	3月失業率		6.70%	★★
5/13 18:30	南ア	第1四半期失業率		31.90%	★★
5/20 21:30	カナダ	4月消費者物価指数(前年比)		2.30%	★★
5/21 17:00	南ア	4月消費者物価指数(前年比)		2.70%	★★
5/23 8:30	日本	4月消費者物価指数(前年比)		3.60%	★★
5/29 22:00	南ア	南ア中銀政策金利		7.5%	★★★★
5/30 21:00	日本	4月完全失業率			★★
5/30 21:30	カナダ	3月実質GDP(前年比)		1.60%	★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

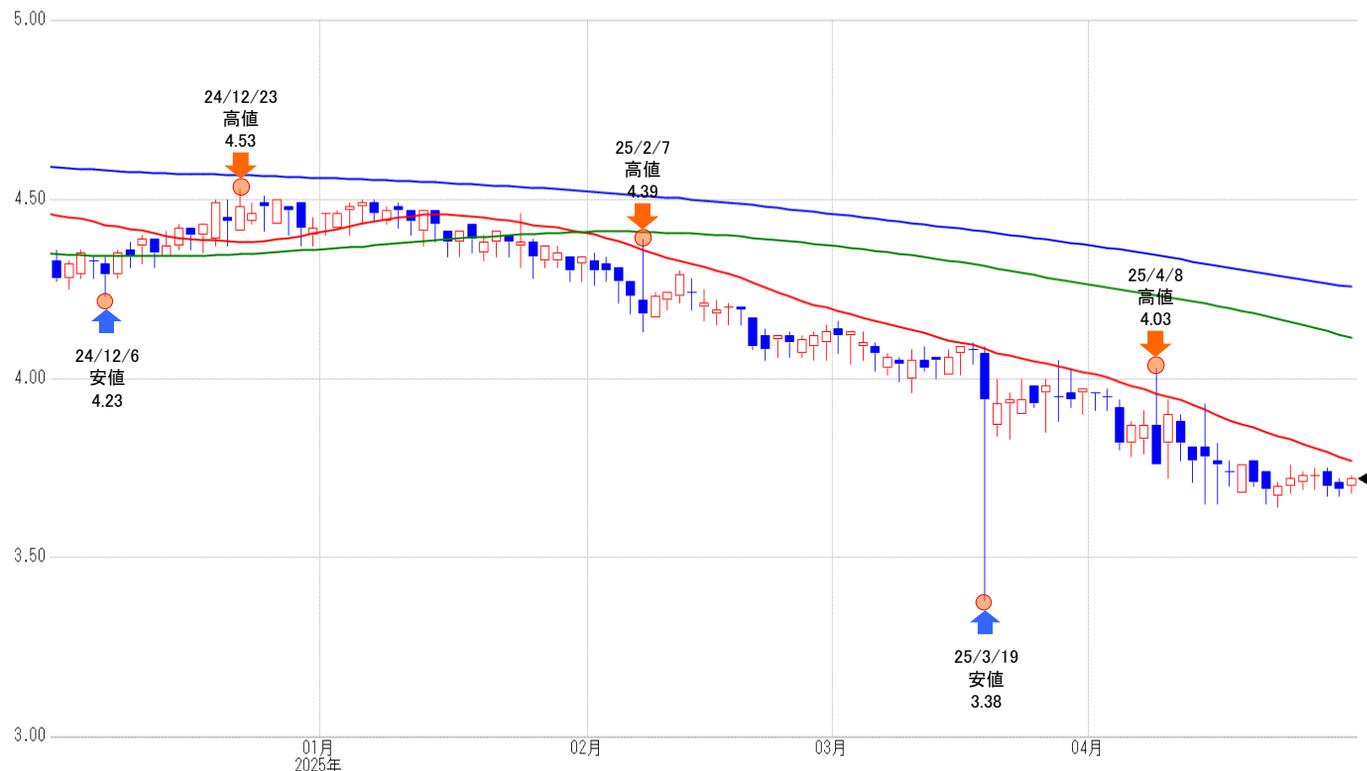
予想レンジ ↑ 4.00円
↓ 3.50円



2024年12月2日～2025年4月30日

トルコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。4/9高値(3.94)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4月の値動きから導き出した計算値(3.53)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(3.50)を下抜けた場合。この場合は3/19安値(3.38)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
5/2 16:00	4月製造業PMI		47.3	★★
5/5 16:00	4月消費者物価指数(前年比)		38.10%	★★
5/5 16:00	4月生産者物価指数(前年比)		23.50%	★★
5/9 16:00	3月鉱工業生産指数(前年比)		-1.90%	★★
5/13 16:00	3月経常収支		-44.1億USD	★★
5/20 16:00	5月消費者信頼感指数		83.9	★★
5/22 16:00	5月設備稼働率		74.40%	★★
5/29 16:00	4月貿易収支		-72.0億USD	★★
5/30 16:00	第1四半期実質GDP(前年比)		3.00%	★★
5/30 16:00	4月失業率		7.90%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

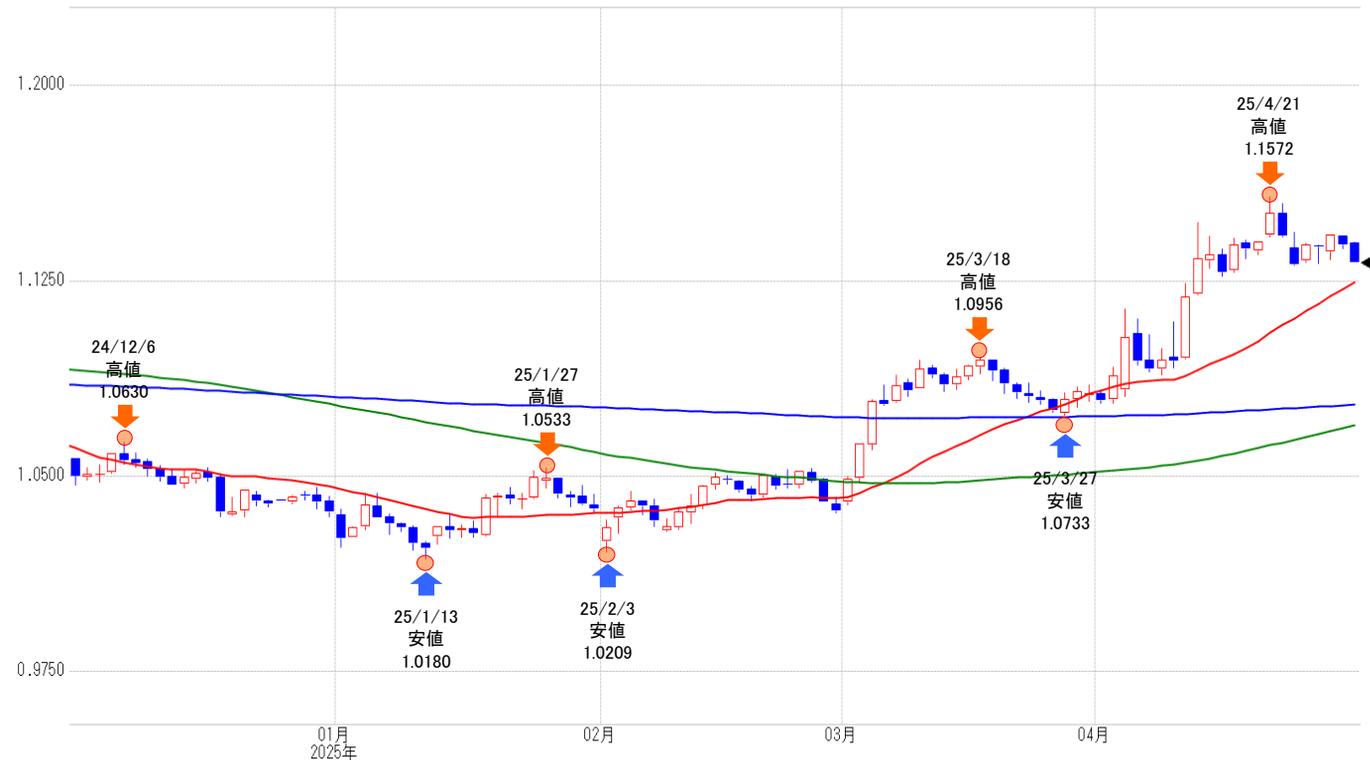
ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 1.1690
 ↓ 1.0980



2024年12月2日～2025年4月30日
 ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、3/28安値(1.0766)をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。21/10/28高値(1.1690)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4月の値動きから導き出した計算値(1.0980)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(1.0980)を下抜けた場合。この場合は89日移動平均線(1.0695)を試す展開が考えられます。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル	
24年	5月	6,864円	5,509円	8,436円	3,703円	8,046円	5,202円	974円	-14.85ドル	
	6月	6,759円	5,253円	8,369円	3,783円	7,318円	5,098円	1,119円	-13.73ドル	
	7月	7,861円	5,997円	9,834円	4,597円	8,251円	6,120円	1,396円	-16.90ドル	
	8月	6,511円	4,991円	7,880円	3,348円	6,654円	5,226円	1,324円	-15.55ドル	
	9月	6,093円	4,790円	7,760円	3,323円	6,180円	4,795円	1,085円	-14.46ドル	
	10月	6,827円	5,110円	9,117円	3,981円	7,344円	5,708円	1,124円	-15.49ドル	
	11月	5,464円	3,995円	7,115円	3,203円	6,378円	4,857円	896円	-12.14ドル	
	12月	6,885円	4,858円	9,366円	3,772円	7,845円	5,755円	1,212円	-16.18ドル	
	25年	1月	5,517円	3,906円	7,412円	3,273円	5,880円	4,836円	1,060円	-12.48ドル
		2月	4,893円	3,073円	6,297円	2,842円	5,139円	4,253円	928円	-13.64ドル
		3月	4,886円	2,923円	6,488円	2,672円	5,106円	4,228円	947円	-16.15ドル
		4月	5,560円	3,164円	7,487円	3,091円	5,661円	4,353円	1,129円	-20.55ドル
	計	74,120円	53,569円	95,561円	41,588円	79,802円	60,431円	13,194円	-182.12ドル	

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)



AIゴールド証券

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道220円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり1,500円～75,520円(2025年5月1日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員